



園の保育目標



- ・心身ともに健康で友達と元気に遊べる子ども
- ・自ら考え、学び、行動できる子ども
- ・のびのびと自己表現できる子ども
- ・思いやりの気持ちを持てる子ども
- ・自分の思いを伝え仲間と協力できる子ども



クラスの保育目標



- ・水の心地よさを味わう。
- ・保育者と一緒に身の回りのことをしようとする。



一度落ち着いたかと思ったコロナウイルスも、また感染が広がっていて、気が抜けない日々が続きますね。園でも引き続き、感染症対策に努めていきたいと思えます。

7月は子どもたちが待ちに待った水遊びがスタート！毎朝「今日水あそびする？」と楽しみにする声が聞こえています。初めのうちは“洋服が濡れてもいいのかな…”と躊躇する子もいましたが、濡れてもいいことを伝えると徐々に遊びがダイナミックになり、保育士と水をかけ合い、

「きゃ〜！」と喜びの声をあげながら、びっしょりになって楽しんでいきます♡

色水遊びや泥遊びも取り入れながら、8月も水遊びを楽しんでいきたいと思えます。引き続き、水遊びのお支度、水遊びカードの記入のご協力をお願いいたします。



この頃、言葉が急成長しているぺんぎん組の子ども達！たくさんのお話をしてくれて毎日やりとりが楽しいです♡その中でも、成長を感じたのはお友達とのやりとり。お友達が使っているおもちゃが欲しい時に、これまでは取ってしまったり、泣いて訴えたり…という姿がありましたが、「『かして』って言うてみようか」と、言葉での関わり方を繰り返し伝えていくと、「かして」と言葉で伝えられるようになってきました！以前のようにおもちゃを無理矢理とってしまった時には、相手のお友達も感情的になり、トラブルになることが多かったのですが、きちんと言葉で「かして」と言われると相手の子も「いいよ」と快く貸してくれる姿があり、小さな子どもたちでもやはり言葉で伝えてくれるの、とそうではないのとは心持が違うのだなぁと改めて感じる場面でした。また、相手のお友達が遊びに夢中になっている時は「まってね〜」と、すぐに貸してもらえない場面もあります。そんな時、「なんで貸してくれないの!？」と涙する時間もありますが、相手の子も自分の遊びが満足すると、自ら「はい、どうぞ」と貸してくれることがほとんどなので、お互いの思いを大切に、気が紛れるように関わりながら“待つ”時間も大切にしています。おもちゃを「どうぞ」と貸してもらえた時の、お互いに満足そうな表情はとても心が温かくなります。すぐに貸してあげられることが必ずしも良いことではなく、「まってね」の関わりの中でお互いに経験できる部分はとても大きいなぁと感じました。今後も大人がフォローしながら、お友達との関わりの中で様々な経験ができるよう見守っていきたいと思えます。

